



大阪労災病院 がん患者と家族の会

# 「いたわり」会報誌

vol.03  
2021.06月号

はじめに

がん患者会「いたわり」は患者さんが病気と向き合い前を向いて歩いていけるよう患者さん同士で支え合う会です。コロナ禍において患者会の中止が続いていますが、少しでも情報発信ができればと思い、この会報誌を作成しました。誰かのお役に立てることを願っています。

がん相談支援センター スタッフ一同

## がん患者さんに対する「コロナワクチン接種」

がん患者さん、特に治療中のがん患者さんにとって、COVID-19ワクチンを接種したほうがよいのか、有効性はどれほどか、安全性は大丈夫か、副反応のリスクが高まることはないのかなど、がん治療に影響を及ぼすことはないのかなど、不安や疑問があるかもしれません。各学会・団体から様々な考え方や推奨が出されています。

以下に臨床腫瘍学会HPからQ/Aを抜粋致しましたのでご一読いただければ幸いです。

(詳細はHPをご覧ください)



臨床腫瘍学会  
該当HPQRコード

Q1：がん患者はワクチンを受けた方がよいのですか。

A：前向きに検討しましょう。ベネフィットとリスクを理解し、主治医の先生と相談して判断することが大切です。

Q2：がんの治療中ですが接種しても影響はありませんか。

A：がんの治療法には、主に、手術、放射線照射、薬物治療があります。それぞれの治療別に、ワクチン接種の可否、タイミング、注意について説明します。

### 1. 手術接種の可否：

手術予定あるいは手術後であってもCOVID-19ワクチン接種は前向きに検討すべきと考えられます。

### 2. 放射線治療接種の可否：

放射線治療中あるいは治療前後であってもCOVID-19ワクチン接種は積極的に検討できると考えられます。

### 3. 薬物治療

#### 1) 細胞傷害性抗腫瘍薬接種の可否：

細胞傷害性抗腫瘍薬による治療中であってもCOVID-19ワクチン接種は前向きに検討すべきと考えられます。

#### 2) 分子標的薬接種の可否：

分子標的薬には小分子化合物、抗体薬など様々なものが含まれますが、一般に分子標的薬による治療中であってもCOVID-19ワクチン接種は前向きに検討できると考えられます。

#### 3) 免疫チェックポイント阻害薬接種の可否：

免疫チェックポイント阻害薬投与中であってもCOVID-19ワクチン接種は積極的に検討できると考えられます。

#### 4) ステロイド、免疫抑制薬など

イスラエルからの報告では、免疫抑制を起し得る治療が行われていた患者は2.7%（約16,000人）でした。それらの対象者においても接種により予防効果が報告されており、接種を推奨するものと考えられます。

適切な情報を入手していただけますように



# お知らせ

新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言・気象警報発令時のがん患者会「いたわり」・がんサロン「陽だまり」の開催について

参加者の感染拡大予防と事故防止のため、**緊急事態宣言**または、**開催当日の午前10時の時点で、堺市に「大雨警報」「暴風警報」「暴風雨警報」「特別警報」**が発令の場合は、イベントの開催を中止いたします。

イベントが中止になる場合は、当院より電話連絡等はおこなっておりませんが、院内掲示やホームページに情報を掲載いたしますのでご確認ください。ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

## 会報誌 掲載記事の募集

ご自身の体験談や生活上の工夫など会報誌に載せてみませんか？  
大募集しています！

### 〈投稿方法および問い合わせ〉

原稿をがん相談支援センターまでメール、郵送または直接ご持参ください。  
原稿内容を確認し、審査の上掲載させていただきます。

大阪労災病院 がん相談支援センター

〒591-8025 堺市北区長曾根町1179-3

MAIL: [nandemo@osakah.johas.go.jp](mailto:nandemo@osakah.johas.go.jp)

TEL: 072-252-3561